

5歳の笑顔が、未来をつくる。



5歳の笑顔が、未来をつくる。



© 小林正典



年次報告書2010  
発行日：2010年6月  
発行人：深水正勝

■ 東京事務局  
〒112-0013  
東京都文京区音羽1-10-4 池田ビル3F  
TEL: 03-3943-6971  
FAX: 03-3943-6973  
Email: info@cyr.or.jp  
URL: http://www.cyr.or.jp

■ プノンペン事務所  
CYK(Caring for Young Khmer)  
P.O.BOX No12 Phnom Penh, Cambodia  
TEL: +855-23-210849



年次報告書 2010

幼い難民を考える会(CYR)は、難民となったカンボジアの子どもたちがけんめい生きようとする姿に触発され、1980年に設立されました。子どもたちが心身ともに健全に成長し、その親たちが人間らしい生活環境のもとで自立できることが、難民を出さない平和な社会につながることを信じ、復興をめざすカンボジアで活動を続けています。



©小林 正典

## 「年次報告書に寄せて」



特定非営利活動法人  
幼い難民を考える会  
代表理事 深水 正勝

カンボジアの地図上に、私たちの保育支援の対象となっている各地の保育園、幼稚園、小学校2,388ヶ所をご覧になることができます。そこには4,011人の若いカンボジアの先生たちが、118,124人の子どもたちに毎日の教育活動を実施しています。これは、今年をもってカンボジア事務所を退職した保育事業担当者の長い努力の実りです。これからの活動は、カンボジア人の副事務所長など現地のスタッフに引き継がれて、さらに広がっていくことでしょう。

CYRIは、首都から遠く離れた支援の行き届きにくい地域を優先していききたいという方針をかかげました。プノンベンから車で往復に数日もかかる地域が少なくありません。その中には、保育園といっても建物があるわけではなく、先生が教材を持っていくときに、地域の子どもたちが木陰に集まって数時間を過ごすというようなものも多いのです。そんな子どもたち、先生たちにこそ、これからもより充実した支援をしたいと思います。

## 活動概要

「幼い難民を考える会(CYR)」は、カンボジアと日本で、幼い子どもたちと、女性の自立のために活動しています。

### カンボジア保育事業

未来を担う子どもたちに、夢と自信と平和の心を。

厳しい状況にある幼い子どもたちが、一人でも多く、より良い保育を受けられるよう、環境づくり、保育者の育成、教材の開発などを、地元の人たちと一緒にしています。子どもたちは、集団生活を通じて他人を尊重すること、自分に自信を持つことを学び、平和な心を育てていきます。

⇒P4



©小林 正典

### カンボジア織物事業

生活向上と伝統文化の継承が女性たちの誇りにつながる。

農村に暮らす女性たちの経済的自立と、戦争で失われてしまった伝統文化の復興を目指し、織物研修センターを開いています。技術を身につけた女性たちは、家事や農業をしながら機を織って、家族の生計を支えています。研修生の作品は、カンボジアや日本で販売し、収益を事業に役立てています。

⇒P5



©小林 正典

### 日本国内事業

カンボジアの現状を伝え、支援の輪を広げていく。

活動報告会・写真展・織物販売会・募金活動などを通じて、日本での支援の輪を広げ、収入をカンボジアの子どもと女性のために役立てています。

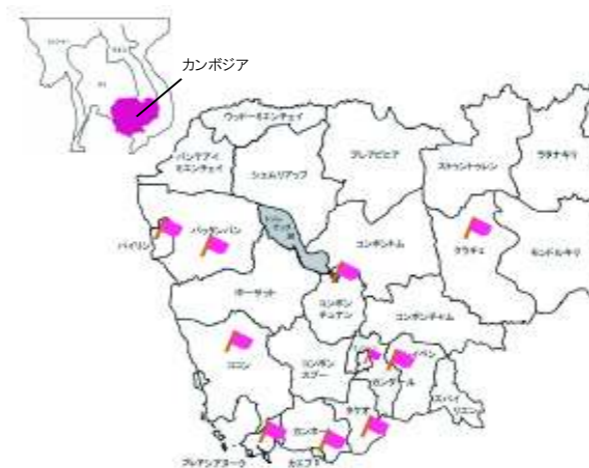
⇒P6



活動報告 ©熊谷 正

## カンボジアでの活動地域

2009年度は、2,388ヶ所の保育園・幼稚園・小学校で、4,011名の先生と118,124名の子どもを対象に保育支援を行いました。また、296名の女性を対象に織物の技術指導を行いました。



■ プノンベン市  
テッカボンヨ公立幼稚園、マタピアップ保育園、スピエンクボ保育園、コー第1村保育園、第2村保育園、スバイバ保育園、ローコンバオ保育園、トロピエンズバイ公立小学校・5歳児クラス

■ タケオ州(織物技術指導)  
織物研修センター、織物巡回研修

■ カンダール州  
バンキアン保育園、プレイ外ウ保育園  
全公立幼稚園173園

■ 全州(保育教材配布・研修)  
全公立幼稚園1,894園  
※うち研修を行った州は、タケオ、プノンベン、カンダール、コンボンチュナン、バタンバン、クラチエ、プレアシアヌーク、バイリン、コッコ、カエブ  
公立地域幼稚園311園

### ■ 農村の保育園

バンキアン、プレイウト保育園を開設してから18年。地域の人々が、自主的に運営していくための具体的な活動が加速しています。

#### (1) 地域での運営費確保のために

- ① 給食費を、1日11円から14円に値上げし、徴収率は82.5%でした。
- ② 村の生活向上のために少額貸付を行い、利息から人件費の44%を充当しました。
- ③ 給食費をまかなうために、米・野菜を作りました。

#### (2) 保育者の育成

研修を増やし、先生たちが自主的に教材を製作しました。他保育園の見学実習を行いました。



保育園の子どもたち © 小林正典

### ■ 都市スラム

首都プノンペンでは貧富の格差がますます広がっています。貧困層が多く住む地域で、支援を行いました。

#### (1) 現地NGO「ケマラ」が運営する6ヶ所の保育園

6ヶ所の保育園へ、環境整備、教材提供、保育研修、給食費支援、栄養ワークショップなどを行いました。

#### (2) トロピエンズバイ公立小学校・5歳児クラス

- ① 学校に通う約460名を対象に朝食を支給しました。
- ② 虫歯予防研修と歯科検診・治療を行いました。
- ③ 給食費を払えない保護者に布ボールの縫製を依頼し、労賃を払って生活を支えました。
- ④ ヘルスセンターの医師・看護師に依頼し、全生徒の健康診断を行いました。



ケマラが運営する保育園 © 小林正典

### ■ 公立幼稚園への協力

カンボジア政府が運営する公立幼稚園は、先生の経験や施設が不足しています。遊具・教材の提供や研修に協力しました。

#### (1) カンダール州公立幼稚園

他州のモデルとなるような質の高い保育内容を目指し、環境整備や教材づくり、先生たちの研修に力を入れました。

#### (2) 僻地公立幼稚園

パイリン州、コッコ州、カエプ州の全幼稚園の先生を対象に研修を行い、教材14種類を配布しました。

#### (3) テッカボンヨ公立幼稚園

新たに先生を採用し、園児が35名から120名に増えました。豆乳・パンを毎月交互に支給しました。



研修の成果を発揮する先生

### ■ 公立地域幼稚園

カンボジア教育省は、小学校中退率を減らすためにも就学前教育を奨励しています。2008年から3年間で、450ヶ所の公立地域幼稚園(\*)を12州に開設中。CYRは、全国に教材を提供しました。さらに、15ヶ所60名の先生には、直接研修をしました。

(\*)お寺、集会所などで開かれる地域の幼稚園(教育省/内務省管轄)



公立地域幼稚園

### ■ 織物研修センターでの技術研修

#### (1) 長期研修

- ① 絁織の1年、7ヶ月コースに合計19名を受け入れました。
- ② DVD教材を制作し、活用しました。
- ③ プノンペンの市場、地域の熟練者、仲買人などを訪問し、外で学ぶ機会をつくりました。

#### (2) 短期研修

地域で織物をしている女性を対象に、基礎技術を習う3ヶ月間の研修を実施しました。



研修センター

### ■ 地域で織物をする女性のための巡回研修

地域で織物をしている女性たちのニーズに応じて、染織の研修を6回行い、合計130名が参加しました。



巡回研修

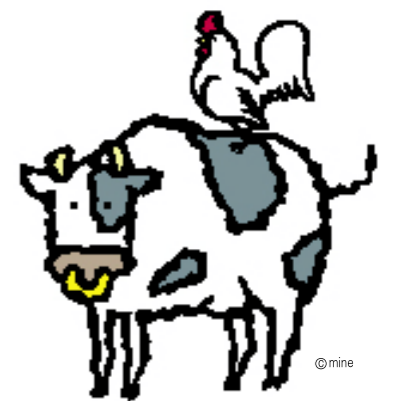
### ■ カンボジアでの資金確保を目指して

手織りシルク製品の販売収益で織物研修の経費をまかなうことを目指しています。

- (1) パートだった織物販売アシスタントをフルタイムにして、在庫管理、製品の仕分け、記録、見本帳作りなどの体制を強化しました。
- (2) 織物マネージャーが顧客サービスに関する外部の研修に参加し、学んだことを他スタッフに講習しました。
- (3) シェムリアップのお土産屋で、委託販売を始めました。



シルク製品 © 高橋まゆみ



©mine

## ■ 広報物

広報物を作成し、各種媒体を通じて寄付の呼びかけ・活動報告・イベント告知に努めました。

- ・ニュースレター  
「子どもたちの明日」発行(年4回)
- ・年次報告書の発行(6月)
- ・募金チラシの作成
- ・CYR通信(メール)を配信(月1回)
- ・mixiの活用
- ・おりもの通信の発行



ニュースレター



年次報告書



募金チラシ



募金チラシ

CYR通信

## ■ 物品販売

販売を強化して自己資金を確保し、安定した活動ができるよう努力しました。

### ● カンボジア手織りシルク製品

#### ■ 百貨店で販売

高島屋(日本橋・新宿・横浜・名古屋・京都・大阪)、小田急百貨店(町田)、名鉄百貨店(名古屋)に出展しました。

■ カンボジア手織り布ショップ「ラタナ」で販売  
事務所併設の直営店「ラタナ」で販売しました。

#### ■ 全国各地で販売

買取11件、企業特別注文8件と、全国各地で販売にご協力いただきました。

### ● CYRオリジナルカレンダー

写真家・小林正典氏によるオリジナルカレンダー「カンボジアの子どもたち」(1,000円)を3,000部製作・販売しました。



「ラタナ」X'mas Sale



カレンダー

## ■ みんなで布チョッキン

～カンボジアの子どもたちへ人形とボールを～

カンボジアの子どもたちが遊ぶ人形・ボール作りをお手伝いいただく「みんなで布チョッキン」。参加型ボランティアプログラムとして、たくさんの企業・団体・学校と連携して取り組みました。

のべ参加者数：1,478名  
完成個数：ボール1,598個、人形585体  
募金額：1,522,000円

⇒P8参照



© 小林正典



© 小林正典

## ■ CYR設立30周年記念企画(継続中)

設立30周年を記念して、様々な企画を始めました。

- ・写真集「カンボジア 子どもたちとつくる未来」発売
- ・オリジナルTシャツ販売
- ・マスコットロード ～みんなで買って、カンボジアの女性をハッピーに！～
- ・CYRキャラクターの名前公募
- ・月いち募金サポーターの募集



写真集



オリジナルTシャツ

### 愛知支部

#### 「幼い難民を考える会 あいち」(CYR-A)の活動

おもな活動

- ・みんなで布チョッキン開催(26回、720名参加)
- ・カンボジア手織りシルク製品販売に協力(5回)



小学校で、みんなで布チョッキン



シルク製品販売

## 国内活動一覧

### シルク製品販売 全44件

#### 出張販売

- 4月 ●高島屋〈横浜〉(神奈川県)
- 5月 ●名鉄百貨店〈名古屋〉(愛知県)
- 6月 ●「アジア&アフリカ布フェア」ホテルアイビス(東京都)  
●高島屋〈新宿〉(東京都)
- 7月 ●高島屋〈日本橋〉(東京都)
- 8月 ●「全日本自治体労働組合定期大会」(熊本)
- 9月 ●小田急百貨店〈町田〉(東京都)
- 10月 ●高島屋〈名古屋〉(愛知県)  
●高島屋〈京都〉(京都府)  
●高島屋〈大阪〉(大阪府)
- 1月 ●高島屋〈横浜〉(神奈川県)
- 2月 ●小田急百貨店〈町田〉(東京都)

他

#### 買取販売/企業特別注文

- アユカット株式会社(東京都)
- 栄光学園中学校 高等学校(神奈川県)
- 大阪市従業員労働組合(大阪府)
- 葛飾区職員労働組合 女性部(東京都)
- 株式会社ローソン(東京都)
- 株式会社ジェイアール東海高島屋(愛知県)
- 有限会社アイ・エンタープライズ(東京都)
- 有限会社グレースサナエオフィス(東京都)
- 横浜雙葉高等学校(神奈川県)

他

### みんなで布チョッキン 全25グループ

- 4月 ●浄見寺土曜学校(熊本)
- 6月 ●自治労栃木県本部(栃木県)  
●特定非営利活動法人WE21ジャパンさかえ(神奈川県)  
●新現役ネット(東京都)  
●財団法人あすて(愛知県)
- 7月 ●東洋英和女学院大学(神奈川県)  
●ゴールドマン・サックス証券株式会社(東京都)  
●取手松陽高校(茨城県)  
●キッコーマンビジネスサービス株式会社(千葉県・兵庫県)
- 8月 ●ギャップジャパン株式会社(東京都)  
●自治労群馬県本部青年女性部(群馬県)
- 9月 ●自治労福岡県本部ユース部(福岡県)  
●栃木市職員労働組合(栃木県)
- 10月 ●特定非営利活動法人WE21ジャパンひらつか(神奈川県)
- 11月 ●三菱商事株式会社(東京都)  
●自治労神奈川県本部(神奈川県)  
●教覚寺(静岡県)  
●UBS Group(東京都)
- 12月 ●連合埼玉女性委員会(埼玉県)  
●㈱アイ・ティ・フロンティア(東京都)
- 2月 ●三井住友海上火災保険株式会社(東京都)
- 3月 ●北星学園大学附属高等学校(北海道)  
●国際ソロプチミスト東京-麻布(東京都)  
●札幌医科大学(北海道)  
●横浜雙葉高等学校(神奈川県)

### その他イベント協力 全5回

- 4月 ●「花まつりコンサート」百観音明治寺(東京都)  
●「カンボジア支援活動パネル展」  
名古屋駅地区振興会(愛知県)
- 10月 ●「写真家達によるチャリティー展」  
フォトボランティアジャパン(東京都)
- 12月 ●「グレゴリオ聖歌による降誕祭夜半のミサと小コンサート」  
CANTATE DOMINO(東京都)
- 3月 ●小野リサさんチャリティーイベント  
国際ソロプチミスト東京-麻布

※「バザー」全11回  
幼い難民を考える会チャリティー・バザーグループ



## 2010年度 おもな活動計画

### カンボジア

#### ■ 保育

##### ● 農村の保育園の自立をめざして

カンボジア難民キャンプをきっかけにCYRが設立されてから、2010年で30周年を迎えました。キャンプ閉鎖後にカンボジアへ活動地を移してから18年。農村の保育支援から始まり、都市貧困層の子どもを対象とした現地NGOへの協力、公立幼稚園、公立地域幼稚園の支援と活動を広げてきました。

18年続けてきた農村の保育園では、初期の卒園生が成人を迎えています。2名の卒園生に国立幼稚園教員養成所で学ぶための奨学金を提供し、2012年から先生として採用する予定です。将来は、地域の人々が自ら運営し、質の高い保育を行うモデル園としての役割を果たせるよう目指します。

また、地域で運営費を確保していくため、農業専門の現地NGOから米・野菜作り、魚の養殖法を学んで、給食の材料にします。



#### ■ 織物

##### ● シルク製品の販路拡大をめざして

展示販売やシームリアップでの委託販売の拡大など、カンボジアでのシルク製品の販売収益を伸ばし、研修事業の経費をまかなえるようにします。また、織物専門家による染色技術の講習会を行って、製品の質を高めます。



©小林正典

### 日本国内

2010年2月、設立30周年を迎えました。30周年記念イベントの実施や、冊子を発行します。

#### 設立30周年企画

記念イベントや企画を実施し、冊子を発行します。

#### 写真集・Tシャツ販売

写真集「カンボジア 子どもたちとつくる未来」と、オリジナルTシャツを販売します。

#### 月いち募金PR

「月いち募金」サポーターを増やします。

#### マスコットロード

シルク製品「マスコット」を、3,000個を目標に販売します。

■ 収支決算書・予算書

I 収入		
科目	2009年度決算額	2010年度予算額
1 期初活動準備金	26,567,079	11,317,091
2 会費収入		
会費収入	4,012,400	4,000,000
賛助会費収入	129,000	100,000
会費収入合計	4,141,400	4,100,000
3 寄付・事業収入		
寄付・募金収入	26,200,227	28,000,000
事業収入		
織物販売収入	9,385,656	5,000,000
ワークショップ収入	3,241,063	3,000,000
カンボジア事務所事業収入	2,981,114	3,000,000
事業収入計	15,607,833	11,000,000
寄付・事業収入合計	41,808,060	39,000,000
4 補助金収入		
補助金収入合計	21,302,000	20,000,000
5 雑収入(換算差益含む)		
雑収入合計	336,164	300,000
6 特別会計繰入金		
特別会計繰入金合計	0	7,000,000
当期収入合計	67,587,624	70,400,000
合計	94,154,703	81,717,091

II 支出		
科目	2009年度決算額	2010年度予算額
1 事業費		
国内事業費		
国際理解事業費	3,310,454	1,000,000
広報費	2,079,653	1,700,000
織物等関係費	8,761,976	5,060,000
事業旅費通信費	1,122,770	1,500,000
国内事業人件費	22,536,074	23,000,000
国内事業費計	37,810,927	32,260,000
海外事業費		
保育事業費	12,163,658	13,050,000
織物事業費	2,432,796	2,350,000
旅費通信費等	3,292,745	3,450,000
海外事業人件費	8,955,280	11,500,000
現地職員保母等人件費	7,832,950	8,670,000
海外事業管理費	873,216	940,000
減価償却費	1,430,281	1,500,000
海外事業費計	36,980,926	41,460,000
事業費合計	74,791,853	73,720,000
2 管理費		
旅費交通費	447,820	500,000
会議・渉外費	150,291	200,000
通信運搬費	690,649	700,000
備品消耗品費	967,368	1,000,000
賃借料等	2,761,333	2,800,000
銀行手数料・雑費	434,987	500,000
減価償却費	105,000	110,000
管理費合計	5,557,448	5,810,000
3 租税公課		
租税公課合計	69,900	480,000
4 補助金返還金		
補助金返還金合計	371,262	400,000
5 雑損失		
雑損失合計	47,149	100,000
6 災害救助引当金戻入		
災害救助引当金戻入合計	2,000,000	
当期支出合計	82,837,612	80,490,000
次期活動準備金	11,317,091	1,227,091
合計	94,154,703	81,717,091

決算レート: \$1=94.04円 予算レート: \$1=100円 \$1=4,000リエル

【収入】



【支出】



■ 収支決算書・予算書 補足説明

2009年度決算

- 保育事業では教育省とチームを組み、12州の公立幼稚園、新公立地域幼稚園で教材製作・配布、研修を、補助金収入を得て行いました。
- 織物事業では農村を巡回しての研修を、補助金収入を得て開始しました。
- 30周年を記念し、写真集を出版しました。約1,400部を上げたため経費が増えました。
- 日本人職員の採用は、カンボジアに1名(保育担当)、東京に1名(名簿管理、非常勤)でした。東京は職員1名(経理)が退職しました。
- 日本の経済悪化等により、会費・寄付・事業収入が前年度を下回りました。

2010年度予算

- 財政状況が悪化したため、経費削減と収入確保を行い、財政再建に努めます。
- 保育事業では、教育省の要請で複製絵本16種などを印刷し、全国の公立幼稚園、公立地域幼稚園などに配布し、研修に協力します。

■ 貸借対照表

I 資産の部		単位:円
科目	金額	
1 流動資産		
現金	42,769	
郵便振替	1,353,994	
通常貯金	168,008	
普通預金	6,142,531	
定期預金	5,555,833	
貯藏品	448,462	
前渡金	291,524	
未収金	315,000	
仮払税金	22,000	
現地事業貸付金	642,293	
特別会計預金	56,000,000	
敷金	828,571	
流動資産合計	71,810,985	
2 固定資産		
車両運搬具	5,930,212	
無形固定資産	525,000	
固定資産合計	6,455,212	
資産合計	78,266,197	

II 負債の部		2010年3月31日現在
科目	金額	単位:円
1 流動負債		
前受金	390,000	
預り金	1,097,237	
未払金	200	
流動負債合計	1,487,437	
2 固定負債		
退職給与引当金	5,555,833	
減価償却引当金	3,905,836	
固定負債合計	9,461,669	
負債合計	10,949,106	
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	82,567,079	
当期正味財産増減額	-15,249,988	
正味財産合計	67,317,091	
負債及び正味財産合計	78,266,197	

換算レート: \$1=94.04円 (2010年3月31日 三菱東京UFJ銀行TTS) \$1=4,000リエル

■ 監査報告書



## 支援者

### 会員（2010年3月末現在）

- 会員:534名
  - 正会員 400名
    - 一般会員:381名
    - 学生会員:12名
    - 団体会員:7団体
  - 賛助会員:52名
- 寄付者:622名

### 2009年度 寄付者

(10万円以上、50音順)※個人を除く

- あさひ幼稚園
- あすてボランティア
- えん21
- 幼い難民を考える会チャリティー・バザーグループ
- カトリック麻布教会
- 株式会社バージンダイヤモンド
- 株式会社ローソン
- 株式会社フェリシモ(mama.fスマイリー基金)
- CANTATE DOMINO
- キックマンビジネスサービス株式会社
- グループ五つの星
- ゴールドマン・サックス証券株式会社
- 財団法人あすて
- 財団法人毎日新聞大阪社会事業団
- 枝光学園幼稚園
- 聖心女子大学同窓会宮代会
- 全国友の会
- 全日本自治体労働組合福岡県本部ユース部
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンあさお
- 特定非営利活動法人WE21ジャパン厚木
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンかながわ
- 特定非営利活動法人WE21ジャパン港南
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンさかえ
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンざま
- 特定非営利活動法人WE21ジャパンひらつか
- 百観音明治寺
- フォトボランティアジャパン
- 三井住友海上火災保険株式会社(MSIGスマイルハートクラブ)
- 三菱商事株式会社

### 2009年度 補助金収入内訳 (50音順)

- 国際ボランティア貯金 13,170,000円
- 財団法人地球市民財団 470,000円
- 財団法人日本国際協力財団 1,000,000円
- 社団法人日本遊技関連事業協会 800,000円
- 全日本自治体労働組合関東甲地区連絡協議会 2,420,000円
- 全日本自治体労働組合国際局 242,000円
- 特定非営利活動法人アークス仏教国際協力ネットワーク 1,000,000円
- 特定非営利活動法人エファジャパン 700,000円
- 日本労働組合総連合会「連合・愛のカンパ」 1,500,000円

### 2009年度 物品購入

(10万円以上、50音順)※個人を除く

#### 手織りシルク製品

- アユカット株式会社
- 大阪市従業員労働組合
- 株式会社ジェイアール東海高島屋
- 株式会社ローソン
- 有限会社アイ・エンタープライズ

#### カレンダー

- 大乘山 経王寺

### 2009年度 物品寄贈

#### 事務用品

- 株式会社リコー

## 新聞で紹介されました

**カンボジアの子支援へ 保育所、給食…**

**この笑顔、ずっと**

**30周年**

**NPO「幼い難民を考える会」**

**記念カレンダー**

**報道写真家、小林正典さんが作品提供**

カンボジアの子どもたちを支援するNPO法人「幼い難民を考える会」(CYR、東京都文京区)が、来年に設立30周年を迎えることを記念した10年版カレンダーを作製した。豊中市在住のフォトジャーナリスト、小林正典さん(60)が、過去10年間で撮りためた写真を提供した。1冊1000円(送料200円)で、収益は同国への支援に充てられる。

70年代のボル・ポト政權下の内戦で、200万人とされる犠牲者を出したカンボジア。CYRは80年、タイ国境のカオイダン難民キャンプで活動を始めた。01年にはカンボジア国内に拠点を設け、現在は二つの保育所を運営するほか、伝統的な絹織物の製作を指導している。

た表情が印象的。9、10月は、ロープにぶら下がって遊ぶ男の子2人の笑顔がはじける。写真。小林さんは、80年にUN HCR(国連難民高等弁務官事務所)と写真契約を結んだ。カンボジア難民らを被写体とする過程で、人々の移り変わりを「ふさに見てきた。以前は譲り合いが多かったが、近年は「穀物や燃料価格の高騰で、経済的格差が顕著になった。真に貧しい者への分配が少なくなっている」と話す。

限定3000冊で、10冊以上の購入は送料無料。1冊の収益で子どもたちの給食50人分が納まる。問い合わせはCYR(03・3943・6971)。ホームページは<http://www.cyr.or.jp>から購入できる。【平川哲也】

し、女性の自立を促す研修センターも運営。子どもたちへの給食支援にも力を入れていた。

カレンダー「カンボジアの子どもたち」は、表紙に20人の顔写真が並び、中には「かんた笑顔や大人びた表情は、いずれも小林さんが撮影した。保育所の子どもたちが園庭で遊ぶ姿を写した7、8月は、友だちの顔を両手で覆う女の子のおどろ

古屋高島屋で開かれていた。写真。18日までに、今回は同センターの修生が手掛けた婦人服やバッグ、スカーフなど約千五百点を集めた。「網糸が主流。習得が難しいかすり模様をいかした布を見てほしい」と同会の藤本若菜さん。福の守り神や仏をデザインした作品が並んでいる。

**途絶えかけた伝統を紡いで**

**中村カンボジア布製品展**

カンボジアの女性が「の展示・販売展が、中村カンボジア布製品展」村区のジェイアール名

古屋高島屋で開かれていた。写真。18日までに、今回は同センターの修生が手掛けた婦人服やバッグ、スカーフなど約千五百点を集めた。「網糸が主流。習得が難しいかすり模様をいかした布を見てほしい」と同会の藤本若菜さん。福の守り神や仏をデザインした作品が並んでいる。

中日新聞 2009年10月17日

毎日新聞大阪 2009年12月3日

その他  
朝日新聞  
カトリック新聞  
上毛新聞  
中日新聞  
毎日新聞  
読売新聞  
※合計19件で紹介されました。

## 役員

2010年3月末現在

代表理事 深水 正勝  
副代表理事 交野 政博  
理事 佐藤 和子  
高木 正彦  
田中 周子  
深津 高子  
松岡 玲子  
山田 暢子  
大川 晴一郎  
鈴木 雅博

## 職員

2010年3月末現在

職員 東京事務局 6名 (事務局長 峯村 里香)  
カンボジア事務所 11名 (内、日本人3名)

## アドバイザー

上田 広美 (東京外国語大学准教授)  
岡田 知子 (東京外国語大学准教授)

## 理念

# Children, Our Future

## 今日の子どもの幸せが、明日の平和な世界へつながります。

1980年、内戦により難民となったカンボジアの子どもたちが、タイ国境の難民キャンプの恵まれない環境のなかで、少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようことの願いから、幼い難民を考える会(CYR)の活動は始まりました。

## 活動履歴

1980 . . . . . '85 . . . . . '90 . . . . . '95 . . . . . '00 . . . . . '05 . . . . . '10

タイ

難民キャンプでの保育・職業訓練

国境被災村での保育活動

スマトラ沖地震・津波被災支援

カンボジア

農村での保育活動

織物技術訓練

都市貧困地域での保育活動

公立幼稚園協力

公立地域幼稚園協力

## 入会のご案内

パートナーとして一緒に活動を支えてください。

年会費 10,000円  
(学生 3,000円 団体30,000円)

- ・カンボジアシルクのマスコットをプレゼントします。
- ・活動紹介DVDをプレゼントします。
- ・ニュースレター「子どもたちの明日」をお送りします。
- ・総会、イベント案内をお送りします。

## 認定NPO法人

**ご寄付が寄付金控除の対象となります。**

CYRは、2006年3月1日より「認定NPO法人」として認定されました。これは、組織運営・事業活動が適正であるとして国税庁が認定するものです。全国に約39,000団体あるNPOのうち、2010年3月現在、122団体のみが認定されています。これにより、みなさまからのご寄付は寄付金控除の対象となります。

難民キャンプ閉鎖後は、復興をめざすカンボジアの農村で、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと女性の自立を支援する活動に取り組んでいます。

会の名前を「難民の子ども」ではなく「幼い難民」としたのは、子どもという独立した人格を尊重する立場から子どもたちの成長が守られて初めて、祖国を逃れてきた人たちの、あるいは、その国の自立の問題に結びつくと考えたからです。

また、「考える会」としたのは、助けるという意識がしばしば相手の自立を侵したり、相手を管理する態勢に陥りがちであることを認識し、難民問題をいろいろな側面から考えていきたいという会の基本姿勢に根ざしています。

私たちはこれからも、さまざまな理由により、厳しい境遇に置かれている子どもたちの健全な成長を支援し、その保護者たちが人間らしい生活環境のもと自立できることをめざしてひとつひとつの小さな積み重ねを大切にしていきます。そのことが、難民を生み出さない、明日の大きな平和を創る力となることを、信じています。

